自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175000413				
法人名	社	会			
事業所名	グループホームゆう&あいひまわり (1F) 北見市花園町38番地6				
所在地					
自己評価作成日	平成29年2月7日	評価結果市町村受理日	平成29年4月13日		

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL u.mhlw.go.jp/01/index.php?action kouhyou detail 2016 022 kani=true&JigyosyoCd=01750004
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支

62 援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	有限会社 NAVIRE	
所在地	北海道北見市とん田東町453-3	
訪問調査日	平成29年3月31日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームゆう&あいひまわりつ	では、終末期を迎える方であっても	、できる限りご本人とご家族のネ	・望に沿った介護がで
きるよう努めております。			
事業にし アロジェモフム 1 日本/	トナルレリルレリーはボデセフムナ	当に来る はにご会せも人様とん	にこ こししておもと

事業所として何ができるか、入居者の方ひとりひとりに何ができるかを常に考え、時にご家族も介護を行う一員として協力を お願いしながら、人間同士の繋がりを大切に毎日を築いております。

また、地域密着型施設としての存在意義を考え、専門的知識や技術を活かした社会貢献を行う事で、地域住民の方にも身近で開かれた施設と感じて頂くよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

項 目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取 り 糸 ↓該当するものに	l み の 成 果 〇印
職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴	1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、	1. ほぼ全	ての家族と
	○ 2. 利用者の2/3くらいの	63	求めていることをよく聴いており、信頼関係が		2/3くらいと
(参考項目: 23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの		できている	3. 家族の	1/3くらいと
(y //	4. ほとんど掴んでいない		(参考項目:9,10,19)		どできていない
	1. 毎日ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や		日のように
, 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	0 2. 数日に1回程度ある	64	地域の人々が訪ねて来ている	2. 数日に	1回程度
(参考項目:18,38)	3. たまにある		(参考項目:2.20)	O 3. たまに	
	4. ほとんどない		(2 3 X 1, ,	4. ほとん	
	○ 1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)		増えている
利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	2. 利用者の2/3くらいが	65			つ増えている
(参考項目:38)	3. 利用者の1/3くらいが				望えていない
	4. ほとんどいない			4. 全くいた	
利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や	1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)		ての職員が
一個の	○ 2. 利用者の2/3くらいが	66			2/3くらいが
(参考項目:36,37)	3. 利用者の1/3くらいが			2000	1/3くらいが
13 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4. ほとんどいない			4. ほとん	
	1. ほぼ全ての利用者が		職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う		ての利用者が
利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ 2. 利用者の2/3くらいが	67			の2/3くらいが
(参考項目:49)	3. 利用者の1/3くらいが	•			の1/3くらいが
	4. ほとんどいない			4. ほとん。	
利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過	0 1. ほぼ全ての利用者が		職員から見て、利用者の家族等はサービスに		ての家族等が
ごせている	2. 利用者の2/3くらいが	68	おおむね満足していると思う		の2/3くらいが
(参考項目:30,31)	3. 利用者の1/3くらいが				の1/3くらいが
	4. ほとんどいない			4. ほとん。	どできていない
利田老は その時々の比辺め亜切に広じた矛動なす	○ 1. ほぼ全ての利用者が				

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価及び外部評価結果

自己	自 外 己 部 評 評 項 目 — 価 価	自己評価	外社	郭評価	
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.	理:	念に基づく運営			
1	ľ	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実 践につなげている	事業所独自の理念を職員で話し合い、意見を まとめる事で作成し、共有、実践を行っている。		
2	2		町内会行事の参加に加え、運営推進会議や消火訓練、法人主体のお祭りや、ひまわり主体の講習会を予定し、地域の一員としての交流を日々行っている。		
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活 かしている			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	体制も引き続き整えており、高齢者相談支援		
5		〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業運営について判断が困難な場合は、市担 当者へ報告や相談を行っている。また入居相 談等があれば、できるだけの協力を行ってい る。		
6	5	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	めている。また職員間で話し合いを行い、共に 確認し合う事で不適切ケア防止への意識を高		
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に 努めている			

自己	外部評価	項目	自己評価	外	部評価
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援し ている	点を学んでいる。その他、外部研修に参加し、		
9					
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並び に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反 映させている	ご家族へ定期的な通信を発行している。また 来所された際には、近況報告を行い、意見を 伺う事で事業運営やサービスへの反映を行っ ている。必要時はその都度電話連絡を行い、 相談や要望に対応できるよう心掛けている。		
11	7		管理者は法人の管理職会議や毎月の事業所会議の中で職員の意見や提案を反映できるよう心掛けている。また職員個々の施設への理想像や行事への提案を行う機会を設け、業務に活かしていけるよう努めている。		
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条 件の整備に努めている	た管理者は職員の相談を受け、状況によって		
13	$ \cdot $	〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の資格に応じた研修へ参加する機会を設けている。また管理者は、社会人として専門職としての自覚を持ち業務に携わるよう日頃から職員の指導を行っている。		
14	$ \cdot $	〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り 組みをしている	他事業所との交流や研修、定期的な会議の中でコミュニケーションを図り、意見を交わし合う事でより良いサービスの向上に繋がるよう心掛けている。		

自己評!	外部	項目	自己評価	外計	部評価
評価	評価	× 1	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.	安/	ひと信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に協力機関に情報提供を行って頂くと共に、ご本人やご家族と面談し聞き取りを行っている。入居後についても個人のペースに合わせたコミュニケーションを図り不安を感じる事がないよう努めている。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、 関係づくりに努めている			
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等 が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	入居前よりご本人やご家族の希望を確認する 機会を設け、入居後のサービス内容へ反映さ せている。		
18		〇本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として尊敬の念を持ち、お互いに 助け合っていくという気持ちを持ちながら、入 居者の方々と接し、自己決定を尊重している。		
19		〇本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支え ていく関係を築いている	ご家族の来所時に近況や状況報告を行い、 サービス提供内容もご本人やご家族へ相談 し、決定している。また、趣味嗜好のものをお 持ち頂くなどして、共に協力し合う関係である 事をお話させて頂いている。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	親類の方や友人の方が面会に来られ、ゆっくり と過ごして頂くほか、買物外出や冠婚葬祭、お 盆、年末年始の外出などの支援や自宅への短 期外泊のお手伝い等も行っている。		
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	認知症が軽度の方が重度の方のお手伝いや 見守りをされる様子や新しく入居された方に、 積極的に声をかける様子がみられる。コミュニ ケーションが困難な方についても、職員が間に 入り楽しく穏やかに過ごして頂けるよう努めて いる。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係 性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も「近くまで来たから」と立ち寄って頂いたり、農家のご家族の方が野菜を持ってきて頂 く事もある。また、退去されたご家族に紹介をされたと施設見学や入居申し込みに来られる方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外	部評価
評価	評価	i 72 H	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	_	の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン	L		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に 努めている。困難な場合は、本人本位に検討してい る	ご家族からお話を伺う他にも、日常生活の会話の中や時々ゆっくりと話をする時間を設け、本人の意向や生活ペースを把握するよう努めている。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス提供前より、ご本人の趣味嗜好を伺ったり、日常会話の中から聞いた話をご家族に確認し、生活歴を把握するなどしてプランや生活に取り入れるなどしている。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	毎日の心身の状況を把握し、職員間で共有する様努めている。些細な変化であっても記録や報告を行う事により、その都度話し合いを行いケアに活かせるよう取り組んでいる。		
26		〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方に ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、そ れぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した 介護計画を作成している	定期的にモニタリングとアセスメントを職員間で話し合い行っている。ご本人やご家族の希望をもとにプランを作成し、状況の変化に合わせて変更を行っている。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実 践や介護計画の見直しに活かしている	プランによる支援内容以外についても、表情や言動等をありのまま記録している。気づいた点や本人の希望が聞かれた際などは、職員間で情報を共有し申し送りを行っており、それをもとにプランの見直しを行っている。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入院中であっても、本人の状態を確認しご家族へ連絡を行う事や、洗濯物の入れ替え、消耗品を届けるなどしている。また、必要書類の代行手続き等もご家族の希望があれば、出来るだけ支援するよう取り組んでいる。		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮 らしを楽しむことができるよう支援している	生活保護や市の福祉サービスを活用し住み慣れた地域での生活ができるよう支援している。 医療機関についても慣れ親しんだ場所を利用 して頂くなど、安心した生活を送れるよう努め ている。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外	部評価
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	た、心身の状況に合わせ、外部訪問看護の契		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そう した場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っ ている。	か カンファレンスに参加させて頂くかどして情		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で できることを十分に説明しながら方針を共有し、地 域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	刖の段階で、こ本人やこ豕族の布望を催認		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	マニュアルを作成し、内部研修を行う他にも、救急救命講習会を行い、初期対応の仕方を学ぶなどして緊急時に対応できるよう取り組んでいる。		
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルの一部改訂を行っている。また 内部研修や町内会の方も参加を行う避難訓練 を行い、地域との協力体制や関係構築に心掛 けている。		
	_	の人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	個人を尊重し、自己決定ができるよう声掛けや ケアに配慮している。また、管理者は職員には 客観的視点から自らを見つめ入居者の対応に あたるよう日頃から指導している。		
37	/	〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	日常会話の中でさりげない意志決定の場面を 作るよう心掛けたり、意志を上手に表現できな い入居者の方についても表情や行動、様子を 観察し、職員間で共有する事でできるだけ汲み 取るよう努めている。		

自己	外部評価	項 目	自己評価	外	部評価
評価	評価	, <u> </u>	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38	1 /	〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援している	入居者個々の生活習慣を把握し、集団的ケア とならないよう心掛けている。また、自発的に 行動できない方についても、居室でゆっくりと 会話する時間を設けるなどし、努めている。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	衣類選びや化粧等も本人の希望に合わせ行っている。また、手直しが必要な方についても、 気分を害さぬような声掛けや支援に努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	それぞれの誕生日には、事前に希望を伺い、 好みのものを提供したり、食事の準備や後片 付けについても、できる範囲でお願いし、職員 と共に行っている。		
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた 支援をしている	食事や水分量を記録し、職員間で申し送るほか、食事中の状況や嚥下状態についても同様に記録している。食事や水分摂取の低下がみられる方については、ご家族と相談の上、好みの物を提供したり、主治医へ相談するなどしている。		
42		ている	毎食後に口腔ケアや義歯の洗浄を促し、行っている。また状況に合わせ、歯科受診や往診を行い、嚥下状態の低下を防ぐよう努めている。また、外部研修等に参加する機会を設け、会議で報告をする事により職員間での情報の共有に努めている。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの 排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンや記録を行っている。また、心身の状況に合わせ、ポータブルトイレの設置や尿取りパットの種類の変更をしている。立位が困難な方についても希望時や排便時に2人介助を行うなどして、トイレでの排泄支援に取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	飲水量の把握や排便間隔の記録を行っている。また状況に合わせ腹部マッサージや乳製品を摂るなどし便秘緩和に務めている。		
45		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々にそった支援をしている	予め入浴日を決めてはいるが、本人の気分や体調に合わせ日時の変更をしている。また、衣類選びや声掛けから気分を害さぬよう配慮し、楽しんで入浴して頂けるよう心掛けている。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外	部評価
計価	評価	× 1	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している	個々の生活習慣を把握し、心身の状況を確認 しながら、日中の活動支援を行うと共に、体調 や不安感等に配慮し、職員の見守りの中、休 息や安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法 や用量について理解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	医療機関受診後の記録や処方箋の内容を職員全員で確認し、用法、用量、副作用についての把握をしている。また誤薬に繋がらないよう、確認や記録を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や普段のコミュニケーション、ご家族のお話から、本人のやりたい事や好む事を把握している。必要な物を準備したり、一緒に楽しみながら行うよう支援に努め、多方向からのアプローチを行い、観察する事で、新たな楽しみを見出し、気分転換等を図れるよう支援している。		
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ているか、できる限りこ家族へ協力して頂きな がら、買い物や外食、一時帰宅などの支援を		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持 したり使えるように支援している	ほぼ全ての方のお小遣いはお預かりしているが、少額程度は本人が管理されている方もいるため、医療機関受診後や外出レクの時などに自ら好きな物を選び買い物しするなどしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	いつでも本人の希望に合わせて電話での連絡をする事が可能であり、手紙のやり取りも郵便局が近隣にあり対応可能である。またハガキや封筒等の準備のお手伝いや記入の手助けを職員が必要に応じて行っている。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくよ うな刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように 配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく 過ごせるような工夫をしている	居者の方と共に飾りつけたりしている。飾り付 けを行う時は声を掛け合ったり、確認したり行		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
一個			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	$ \cdot $	〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫 をしている	本人の希望や心身の状況に合わせ、食事やおやつを運膳したり、無理強いする事なく居室 や居間で過ごして頂けるよう声掛けや支援を 行っている。		
54		ながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、	できる限り馴染みの物を持ち込んで頂くようご家族へ伝えている。また個々の状況に合わせ、希望を確認しながら配置を行うなどして落ち着いて生活できるよう努めている。		
55	$\rfloor/$	建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している			